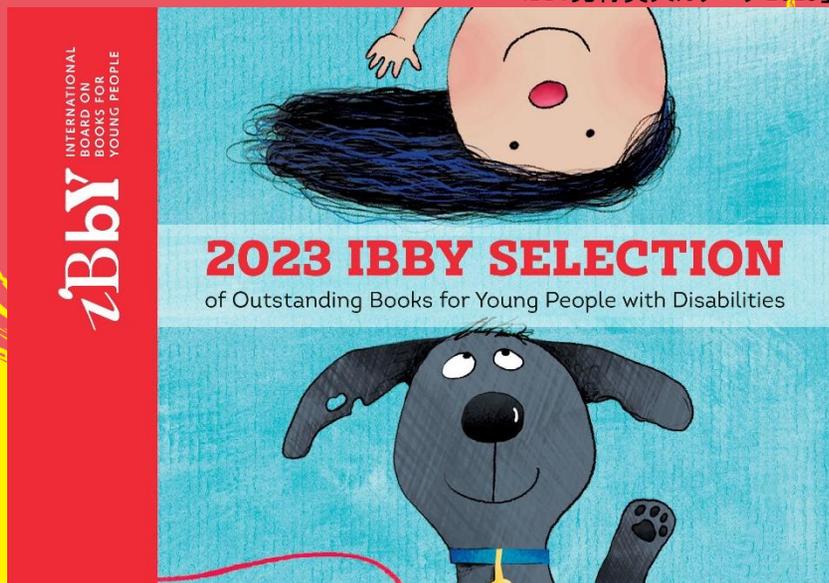


夏休みスペシャルコラボ企画

# IBBY世界のバリアフリー児童図書展 withラポールおもちゃ展

「IBBY発行英文カタログ2023」



ラポールおもちゃ展も同時開催!

世界30か国22の言語で描かれた児童図書  
そのなかから、障害や多様性にまつわる良書  
40点を選びすぎり。

展示期間 2024年7月23日(火)～  
29日(月)

時間 10時～16時  
(最終日のみ12時閉場)

場所 横浜ラポール2階ラポールボックス

観覧  
無料

対象  
どなたでも  
ご観覧いただけます

遊べるコーナー  
おもちゃ図書館の  
おもちゃで  
遊べます

・保護者や介護者の方の同伴でご観覧ください  
・遊べるコーナーでお子さんのお預かりはできません  
・会場には、図書の見守りボランティアスタッフが常駐しています

共催:日本国際児童図書評議会  
障害者スポーツ文化センター  
横浜ラポールおもちゃ図書館  
〒222-0035横浜市港北区烏山町1752番地

お問い合わせ先

☎045-475-2055

✉rapo-bunka@yokohama-rf.jp

(文化事業課 担当:坂上)

# IBBY世界のバリアフリー児童図書展とは...

国際児童図書評議会 (IBBY) は、「子どもたちに必要なのはパンと本である。本を通して国際理解を深めることが平和を築く」と提唱したユダヤ人女性、イェラ・レップマンによって、1953年に誕生しました。2024年現在82の国と地域が加盟し、世界中で子どもと本を繋ぐ活動を行っている非営利組織です。

IBBYの日本支部である日本国際児童図書評議会(JBBY)は、平成15年から、IBBYが隔年て選出する各国の優れたバリアフリー図書を、「世界のバリアフリー絵本展」というタイトルで巡回展示してきました。横浜ラポールでも趣旨に賛同し、初期の頃から巡回展示を行ってきました。



今年度は、2021年から募集をかけた「世界のバリアフリー児童図書—IBBYによる2023年選定図書」、30か国22の言語、200作品の応募の中から、IBBYが選定した40タイトルが届きます。本展示会に並ぶ図書は、2つのカテゴリーに分かれています。

## 【カテゴリーⅠ】

### 誰もがアクセスできる本

作り方やデザインに特別な配慮がある本は、すべての人が読書と出会う機会を広げます。具体的には点字、手話、大きな活字、言葉に頼らない方法(絵、写真、絵文字、音声など)を使った本や、てこぼこ、型抜き、布、しかけなどが施されたさわる絵本があげられます。知的障害、発達障害やニューロダイバーシティの若者たちにも読みやすい本も紹介します。読者の年齢にふさわしいテーマを扱い、平易な言葉と短い文章で書かれた作品です。



## 【カテゴリーⅡ】

### 理解：障害が描かれた本

障害が描かれた本を紹介します。子どもによくある、病気やケガといった身体的問題については、障害として一生残る場合に限っています。合わせて、強迫性障害や統合失調症といった精神的な病気に関する本も紹介します。

## withラポールおもちゃ展

この巡回展示にあわせて、横浜ラポールおもちゃ図書館で貸し出している「カテゴリーⅠ」に属する「さわれる」布絵本や点字絵本「音声読み上げ機能」を搭載したマルチメディア図書「カテゴリーⅡ」に該当する「障害について書かれた」児童図書も展示します。また、障害のあるお子さんが遊びやすいおもちゃを厳選して展示し、お子さんから大人の方まで、触って遊べるコーナーも併設します。



# ぜひ 遊びに来てください！



おもちゃ図書館  
インスタグラム